

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 中国財務局長

【提出日】 平成25年11月14日

【四半期会計期間】 第67期第3四半期  
(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)

【会社名】 株式会社ソルコム

【英訳名】 SOLCOM CO., Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 松本剛平

【本店の所在の場所】 広島県広島市中区南千田東町2番32号

【電話番号】 082(504)3300

【事務連絡者氏名】 常務取締役企画本部経理部長 八幡正昭

【最寄りの連絡場所】 広島県広島市中区南千田東町2番32号

【電話番号】 082(504)3300

【事務連絡者氏名】 常務取締役企画本部経理部長 八幡正昭

【縦覧に供する場所】 株式会社ソルコム 岡山支店  
(岡山県岡山市北区奥田南町8番38号)

株式会社ソルコム 山口支店  
(山口県山口市佐山1番地7)

株式会社ソルコム 東京支店  
(東京都大田区新蒲田3丁目10番17号)

株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第66期 第3四半期 連結累計期間	第67期 第3四半期 連結累計期間	第66期
会計期間		自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日	自 平成24年1月1日 至 平成24年12月31日
売上高	(千円)	27,870,461	28,053,464	37,226,901
経常利益	(千円)	763,181	819,700	1,069,173
四半期(当期)純利益	(千円)	430,300	490,576	609,457
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	356,546	955,848	664,191
純資産額	(千円)	21,109,818	22,153,445	21,417,271
総資産額	(千円)	30,816,055	32,038,213	30,897,814
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	15.86	18.09	22.47
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	67.5	68.2	68.3

回次		第66期 第3四半期 連結会計期間	第67期 第3四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 又は四半期純損失金額( )	(円)	1.51	0.18

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していない。

2 売上高には、消費税等は含まれていない。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していない。

#### 2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はない。

また、主要な関係会社についても異動はない。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はない。

なお、重要事象等は存在していない。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はない。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものである。

#### (1) 業績の状況

当社グループの主な事業領域である情報通信分野においては、固定通信分野ではブロードバンドサービス市場の成熟化が進展し、設備投資の効率化が進められる一方、移動通信分野ではスマートフォンやタブレット端末の急速な普及を背景に、積極的な通信ネットワークの整備が進められている。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間における受注高は301億46百万円（前年同期比1.0%減）、売上高は280億53百万円（前年同期比0.7%増）となった。損益面は、兼業事業売上原価の改善などにより営業利益は5億89百万円（前年同期比13.0%増）、経常利益は8億19百万円（前年同期比7.4%増）、四半期純利益は4億90百万円（前年同期比14.0%増）となった。

セグメントの業績を示すと、次のとおりである。

#### （建設事業）

ブロードバンドサービス関連投資や既存設備の取替等のインフラ設備工事等における受注高は266億83百万円（前年同期比0.1%減）となり、完成工事高は245億90百万円（前年同期比1.8%増）、セグメント利益は8億4百万円（前年同期比1.4%減）となった。

#### （販売事業）

OA機器やソフトウェア等の販売活動における受注高・売上高は28億39百万円（前年同期比4.8%減）、セグメント利益は1億70百万円（前年同期比139.1%増）となった。

#### （その他）

不動産関連事業や警備・運送・リース業における受注高・売上高は6億23百万円（前年同期比15.8%減）、セグメント利益は21百万円（前年同期比43.5%減）となった。

## (2) 財政状態の分析

### (資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて11億40百万円増加し320億38百万円となった。流動資産は、前連結会計年度末に比べて6億20百万円増加し153億55百万円となった。これは主に、現金預金が9億40百万円、有価証券が3億円、未成工事支出金が3億21百万円増加し、受取手形・完成工事未収入金等が9億23百万円減少したことなどによるものである。固定資産は、前連結会計年度末に比べて5億20百万円増加し166億82百万円となった。これは主に、投資有価証券が6億65百万円増加し、繰延税金資産が2億1百万円減少したことなどによるものである。

### (負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて4億4百万円増加し98億84百万円となった。これは主に、支払手形・工事未払金等が2億65百万円減少し、未成工事受入金が3億96百万円、賞与引当金が3億2百万円増加したことなどによるものである。

### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて7億36百万円増加し221億53百万円となった。これは主に、利益剰余金が2億73百万円、その他有価証券評価差額金が4億58百万円増加したことなどによるものである。

## (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はない。

## (4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は18百万円である。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	100,000,000
計	100,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年11月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	29,559,918	29,559,918	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数 1,000株
計	29,559,918	29,559,918		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項なし。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項なし。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項なし。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年9月30日		29,559		2,324,732		1,461,738

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はない。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できず、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年6月30日）に基づく株主名簿による記載をしている。

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 2,436,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 26,889,000	26,889	
単元未満株式	普通株式 234,918		
発行済株式総数	29,559,918		
総株主の議決権		26,889	

(注) 「単元未満株式」の欄には、当社所有の自己株式699株が含まれている。

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ソルコム	広島市中区南千田東町 2番32号	2,436,000		2,436,000	8.24
計		2,436,000		2,436,000	8.24

(注) 当第3四半期連結会計期間末の自己名義所有株式数は、2,437,000株である。

2 【役員 の 状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の変動は、次のとおりである。

役職の変動

新役名及び職名	旧役名及び職名	氏名	異動年月日
取締役 (安全品質管理本部長 兼 安全品質管理本部品質保証部長)	取締役 (安全品質管理本部長)	松本 和真	平成25年4月1日

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に準拠して作成し、「建設業法施行規則」(昭和24年建設省令第14号)に準じて記載している。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年1月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により四半期レビューを受けている。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	2,241,343	3,181,641
受取手形・完成工事未収入金等	<sup>1</sup> 6,052,417	5,128,963
有価証券	20,162	320,171
商品	320,151	284,046
仕掛品	19,019	18,928
材料貯蔵品	71,658	71,523
未成工事支出金	5,032,928	5,354,423
その他のたな卸資産	364,524	363,584
繰延税金資産	160,096	249,918
その他	465,411	394,960
貸倒引当金	12,097	12,451
流動資産合計	14,735,616	15,355,711
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物（純額）	3,360,633	3,239,674
機械、運搬具及び工具器具備品（純額）	349,699	424,181
土地	6,831,733	6,927,725
リース資産（純額）	499,955	567,683
建設仮勘定	-	15,707
有形固定資産合計	11,042,022	11,174,972
無形固定資産	156,851	110,554
投資その他の資産		
投資有価証券	3,247,598	3,912,924
繰延税金資産	1,052,360	851,103
その他	776,885	732,090
貸倒引当金	113,520	99,143
投資その他の資産合計	4,963,324	5,396,974
固定資産合計	16,162,197	16,682,501
資産合計	30,897,814	32,038,213



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	3,102,898	2,837,233
短期借入金	147,214	130,027
リース債務	307,437	348,861
未払法人税等	343,673	227,210
未払消費税等	63,841	110,277
未払費用	71,505	137,006
未成工事受入金	416,120	812,943
完成工事補償引当金	6,298	6,355
賞与引当金	125,851	428,595
工事損失引当金	59,687	63,620
その他	535,632	422,228
流動負債合計	5,180,161	5,524,359
固定負債		
長期借入金	76,624	52,341
リース債務	750,465	773,590
退職給付引当金	3,276,848	3,334,305
役員退職慰労引当金	175,569	173,033
その他	20,873	27,139
固定負債合計	4,300,381	4,360,408
負債合計	9,480,543	9,884,768
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,324,732	2,324,732
資本剰余金	1,462,370	1,462,370
利益剰余金	17,841,861	18,115,429
自己株式	654,744	655,506
株主資本合計	20,974,221	21,247,026
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	139,769	598,676
その他の包括利益累計額合計	139,769	598,676
少数株主持分	303,280	307,742
純資産合計	21,417,271	22,153,445
負債純資産合計	30,897,814	32,038,213

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
<b>売上高</b>		
完成工事高	24,147,842	24,590,489
兼業事業売上高	3,722,618	3,462,975
売上高合計	27,870,461	28,053,464
<b>売上原価</b>		
完成工事原価	22,692,689	23,131,489
兼業事業売上原価	3,123,397	2,787,203
売上原価合計	25,816,086	25,918,693
<b>売上総利益</b>		
完成工事総利益	1,455,153	1,458,999
兼業事業総利益	599,220	675,771
売上総利益合計	2,054,374	2,134,771
<b>販売費及び一般管理費</b>	1,533,108	1,545,484
<b>営業利益</b>	521,265	589,286
<b>営業外収益</b>		
受取利息	2,254	2,020
受取配当金	55,616	59,138
受取賃貸料	125,500	117,513
持分法による投資利益	18,214	13,224
その他	47,245	44,817
営業外収益合計	248,830	236,713
<b>営業外費用</b>		
支払利息	4,888	4,309
その他	2,026	1,990
営業外費用合計	6,915	6,299
<b>経常利益</b>	763,181	819,700
<b>特別利益</b>		
固定資産売却益	3,937	3,760
投資有価証券売却益	-	2,365
特別利益合計	3,937	6,125
<b>特別損失</b>		
固定資産除却損	7,601	424
固定資産処分損	-	2,962
ゴルフ会員権評価損	8,600	-
特別損失合計	16,201	3,387
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	750,917	822,438
<b>法人税、住民税及び事業税</b>	402,294	426,528
<b>法人税等調整額</b>	86,723	100,971
<b>法人税等合計</b>	315,571	325,556
<b>少数株主損益調整前四半期純利益</b>	435,345	496,882
<b>少数株主利益</b>	5,045	6,305
<b>四半期純利益</b>	430,300	490,576

【四半期連結包括利益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	435,345	496,882
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	77,349	458,195
持分法適用会社に対する持分相当額	1,449	770
その他の包括利益合計	78,799	458,966
四半期包括利益	356,546	955,848
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	351,499	949,483
少数株主に係る四半期包括利益	5,047	6,365

【会計方針の変更等】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更) 当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更している。 なお、これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微である。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日に入金の処理をする方法によっている。

なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の連結会計年度末日満期手形が連結会計年度末残高に含まれている。

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
受取手形	22,375千円	

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していない。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりである。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)
減価償却費	539,615千円	504,394千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年3月29日 定時株主総会	普通株式	217,053	8	平成23年12月31日	平成24年3月30日	利益剰余金

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの。

該当事項なし。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年3月28日 定時株主総会	普通株式	217,008	8	平成24年12月31日	平成25年3月29日	利益剰余金

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの。

該当事項なし。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	建設事業	販売事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	24,147,842	2,982,194	27,130,037	740,423	27,870,461		27,870,461
セグメント間の内部 売上高又は振替高		2,723,566	2,723,566	77,809	2,801,375	2,801,375	
計	24,147,842	5,705,760	29,853,603	818,232	30,671,836	2,801,375	27,870,461
セグメント利益	815,477	71,504	886,981	38,013	924,995	403,729	521,265

(注)1 その他には不動産関連、警備、運送及びリースに関する事業を含んでいる。

2 セグメント利益の調整額 403,729千円は、主に各報告セグメントに配分していない提出会社の本社管理部門に係る費用である。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	建設事業	販売事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	24,590,489	2,839,503	27,429,992	623,472	28,053,464		28,053,464
セグメント間の内部 売上高又は振替高		2,452,225	2,452,225	90,811	2,543,037	2,543,037	
計	24,590,489	5,291,728	29,882,217	714,284	30,596,501	2,543,037	28,053,464
セグメント利益	804,285	170,955	975,240	21,467	996,708	407,422	589,286

(注)1 その他には不動産関連、警備、運送及びリースに関する事業を含んでいる。

2 セグメント利益の調整額 407,422千円は、主に各報告セグメントに配分していない提出会社の本社管理部門に係る費用である。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更している。

なお、これによる当第3四半期連結累計期間の各セグメントへの損益に与える影響は軽微である。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりである。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	15円86銭	18円09銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	430,300	490,576
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	430,300	490,576
普通株式の期中平均株式数(株)	27,129,182	27,123,993

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していない。

2【その他】

該当事項なし。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項なし。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月14日

株式会社ソルコム  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 尾崎 更三 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 高山 裕三 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ソルコムの平成25年1月1日から平成25年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年1月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ソルコム及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。